

令和6年度 第16回

病院経営戦略会議報告

日 時 令和6年12月17日（火） 12時58分～13時15分
場 所 3階講堂会議室1・2
出席者 朝見副院長、池田副院長、金子副院長、原看護部長、
細沼保健衛生局総合調整幹、堀越病院経営部長、
天本病院総務課長補佐（代理）、三上病院施設管理課長、富田病院財務課長、
増田医事課長、藤川情報管理室主査（代理）、田中患者支援センター副所長
事務局 病院総務課 天本

内 容

◎天本病院総務課長補佐

【報告事項】

（時間外勤務の状況について）

- ・11月の医師の平均は54時間で、前月から2時間減。80時間超えは13人で前月から8人減。そのうち100時間超えは6人で前月から2人減。
- ・歯科医師の平均は47時間で、前月から1時間増。
- ・専攻医の平均は76時間で、前月から4時間減。80時間超えは21人で前月から2人減。そのうち100時間超えは9人で前月から4人減。
- ・歯科専攻医の平均は43時間で、前月から12時間減。
- ・臨床研修医の平均は63時間で、前月から6時間増。80時間超えは4人。年次ごとに見ると研修医2年次の平均は59時間、1年次の平均は66時間。
- ・月の時間外勤務時間が100時間を超えることが見込まれる医師に対して実施する長時間労働面接指導は、18人に対して実施した。
- ・コメディカルの平均は26時間で、前月から1時間減。
- ・看護部の平均は10時間で、前月と同様。
- ・事務の平均は27時間で、前月から6時間減。

（医療関係従事者届出について）

- ・法律の規定に基づき、医師・歯科医師・薬剤師である方や、業務に従事する保健師・看護師・准看護師・歯科衛生士の方は、2年に1度、業務従事状況等の届出

が必要であり、本年は届出を要する年となる。

- 届出の方法は、厚生労働省ホームページから「医療従事者届出システム」にログインいただき、各職員がオンライン上で届出を行っていただく。
- 近日中に届出システムへのログインに必要なID、パスワード及び作業要領を対象職員に配布するので、期限内の届出をお願いしたい。

◎富田病院財務課長

【報告事項】

(令和6年12月定例会 提出議案審査状況について)

- 現在、開会中の12月定例会へ提出した補正予算議案について、現時点での報告を行う。
- 12月12日（木）に開催された予算委員会において、提出した補正予算議案の審査が行われた。1名の委員より質疑があった。
- 報償費（招へい医師）に関しては、産休以外の主な招へい医師の内容、招へい医師の契約期間等について質疑があり、招へい医師は日々変わるので契約期間は特にない旨の答弁を行った。
- また、治験受託収益等に関するこのうち、COVID-19 小児ワクチンの治験実施者の市内的人数という質疑に対しては、市内・市外という数字を出していなかったため、当院に通われている方を対象としている旨の答弁を行い、どの程度（人数）の規模で本治験を実施するのかという質疑に対しては、製薬会社の報道発表資料から2,500人規模で治験が実施されており、当院はそのうち50症例について契約している旨の答弁を行った。
- 予算委員会の採決においては、病院事業会計の補正予算議案は可決された。今後、12月20日（金）に開催される本会議で議案の採決が行われる見通しとなっている。

→今回の補正予算の規模はどれくらいか。（池田副院長）

→給与費が約2,500万円、招へい医師の報償費が約6,100万円、治験の研究研修費が約1,150万円となっている。（病院財務課長）

◎増田医事課長

【報告事項】

(年末年始の救急の受付について)

- 発熱の患者については、例年、外来の2Aを使用して対応してきているので、今年も同様の対応としたいと考えている。今、動線等を含めて看護部と調整をしているのでまとまつたら改めて報告したい。

◎田中患者支援センター副所長

【報告事項】

(地域連携訪問活動実績報告（11月分）について)

- ・11月は病診連携で2件、病病連携で0件、合計2件の地域連携訪問活動を実施した。11月は少なくなっているが、計画通りであり目標である120件には到達する見込みである。

→11月だけ極端に訪問件数が減った理由は何か。（病院財務課長）

→12月も現時点で0件だが、2月3月に集中的に実施したいと考えている。（患者支援センター副所長）

→訪問活動の成果、どれくらい紹介患者の増に結び付いたかという数字を出すことは可能か。（病院財務課長）

→訪問前と後で紹介患者の数を確認しているが、すべての医療機関で数字が上がっているわけではなく、一時的に上がってまた元に戻ったり、病院よってまちまちの状況であり、目に見える結果としては出てきていない。新しい病院では数字が増えるが、今まで連携している病院は数字が維持できているのが成果ということもあるかもしれない。（患者支援センター副所長）

→本庁に対しては、関係性の構築を地域連携訪問活動の重点にしているという説明をしているが、数字を求められた際はご協力をお願いしたい。（病院財務課長）